

# 新潟県

# 公民館月報

昭和56年10月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・興林業会館内】  
【電話・新潟 (0252) 24-6073】【振替新潟 4049】

発行人 会長 石井 耕一  
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 90円 年共・年極 1,080円】



## マツ

マツは東洋だけでなく  
西欧や米国にもあります  
が、特に東洋においては  
その風格が尊とばれ、日  
本の風土と生活とけ込  
んでいる代表的な植物と  
いえます。

日本三景をはじめ全国の景勝の  
地や、金沢兼六園などの名園は殆  
どがマツが中心になっています。  
マツは古くから神の依りたもう  
木として日本人に尊敬され、正月  
の門松をはじめ各地のマツに関す  
る伝統も、その神聖さをあらわす  
ものばかりです。

能舞台の背景には、神の依りた  
もう木としてマツが描かれ、謡  
曲にも「高砂」にマツの精が主人公  
とされているように、マツを謡い  
込んだものが少なくありません。  
松竹梅と、めでたい植物の筆頭  
にあげられたのも、四季常緑、節  
操を変えない高貴清節の木として  
尊とばれたからでありましょう。

マツが日本人と深くかわりをも  
っている証拠として、マツに因  
んだ姓と地名がたいへんに多いこ  
とと、マツを「都道府県の木」や、  
「市町村の木」としている所もた  
いへんに多く、柏崎市でも昭和四  
十五年の市制三十周年を記念し  
て、「マツ」が「柏崎市の木」と  
して制定されました。(柏崎市中  
央公民館事務局長・徳間功夫)

絵・柳 重栄

(柏崎市美術展覧会運営委員・寿  
大学講座水墨画コース講師)

# 発想の転換せまられる

## 生涯教育態勢のなかの公民館



「公民館の歌」の斉唱ではじまった開会式、指揮者は小高埼玉県公連会長

県公民館大会の六日後、埼玉県公民館は「と題し、学識経験者、公民館利用者代表、類似施設代表などによる活発な意見交換がなされた。この大会は、本年度の公民館の当番県である埼玉県が第四回埼玉県公民館研究集会と併せて開催したもので、県内外の参加者一千余名が集まった。本県からは井上会長以下十五名が参加、それぞれ分科会に分かれ研究討論に加わった。とくに「館長の職務」をテーマとする第一分科会では、新潟市中央公民館長北村壽昌氏が「新潟市公民館の現状と問題点」と題し基調発表を担当し、あわせて同分科会の助言者には、本会会長の石井耕一氏が参加するなど活躍した。

メーテーマは「豊かな地域社会の創造と公民館」というもので生涯教育と地方の時代といわれるなかでの公民館のあり方が問われた。大会は第一日は開会式と基調提案、十七分科会に分かれての研究討議とすめられたが、とくに初心者のために「学級、講座の組み方、進め方」と「公民館職員あり方」の二つの基礎講座が組み込まれていて新血を吹き込んだ。二日目のシンポジウムは「今、

問われていたが、この方面の素養を学ぶために埼玉県のユニニティ活動推進の中心となつていている同県県民部長持田謙一氏、ユニニティ施設はかなた充実しているが公民館がないといわれる武蔵野市の社会教育委員伊藤徳千氏が招かれていた。

結局、ユニニティ施設は住民の主体性を尊重する活動の場であるとされているが、行政の主導によって成立しているものであり、一方の公民館は、行政機構に組み込まれている社会教育施設であるといふものの、密接な相互教育が実施されており、この両者の接点について、向後、積極的に検討していかなければならないことが確想された。



「寺中構想」で知られる寺中作雄氏、公民館の創始者のひとり

公民館が歴史ある社会教育施設として社会に定着している一方、近年、ユニニティセンターなどの類似施設の台頭が目立ち、これらの施設と公民館とのかわり方が

「私と公民館」  
—原稿募集—  
本誌の継続発展として「新生公民館雑誌部」があり、それら維持発展の新しい公民館像を描いて、現場から大へん参考になると好評をいただいています。

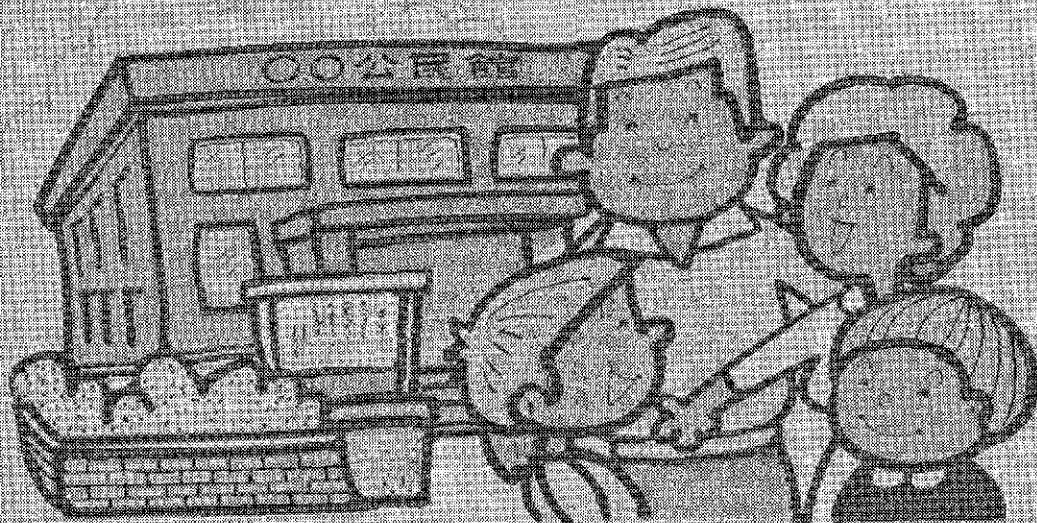
この新しい公民館を利用している学級生、また受講者などの皆さんから、実際に利用しての感想を募りたいと思えます。

みなさんの公民館で活躍しておられる利用者のなかから、適任と思われる方の住所氏名をばかき等でお知らせください。当方から送稿をお願いしたいと存じておられます。掲載方には返答品を差し上げておきます。

公民館の実務に同じく加入の種類は自由です。

A型	公民館	+	公民館	+	公民館
B型	公民館	+	公民館		
C型	公民館		+	公民館	
D型	公民館				公民館

中途加入受付中!



加入・制度内容の組合先  
電話 0252 25 1811号

〒951 新潟市東区中道1番町8-6  
安田火災海上保険新潟支店

### あなたならどう答える 公民館とは何ですか

県公民館月報の三言片は「くらしの中に生き、教科書に載った公民館子供たちも活躍する多活動」の語句を出して、「公民館のことが小学校四年生の社会科の教科書に載っている。公民館が社会的地位を確保した証明とも言えること、まことに素晴らしいことである。」と記されている。

ところが九月に入ってから楽々としてこのことを喜んでばかりもいられなくなった。それは、子どもたちの公民館についての学習が始まり、このところ連日のように子どもたちの見学が続き、素朴だが真剣な質問を交わねばならぬからである。

### 公民館番頭日記

日頃「公民館は社会教育の基盤機関」「地域の生涯教育の中心施設。公民館」などと言ってはいたが、社会教育、機関、生涯教育などという言葉を彼等に正しくわかりやすく説明するのは極めて難しいことである。

長い間、公民館に勤めながら公民館を社会教育と、相手と互にさわい言葉を正しく説明でき

なすのうちは、感心感嘆がしてことを思う反面、いや、それだけ難しいのだと自分自身に言聞かせたりもしている。

以下、子どもたちの質問の中から、いくつかの質問事項を紹介しよう。

秋の夜長のひととき、ウイスキーでも飲みながら、「公民館は何か」と答える。「について、着がわりみんなを考えると見えてはと感うのである。

- ・公民館は何かして必要になつてきたのですか
- ・公民館は何のためにつくられたのですか
- ・公民館をつくることでよきまゐるのは誰ですか
- ・建物の大きさや広さを教えてください
- ・どんな人が利用しますか
- ・おもに何のために利用していますか
- ・公民館は、どのような活動をしていますか
- ・公民館と地域のひととのつながりはどうなっていますか

地域のひととの生活とのよいうに役立っていますか。(相崎市中央公民館・徳岡助文)

# 経営活動はどうあるべきか

①80年代は社会が変ってきている。  
これに対応できる → 専門的になり  
公民館であれ → 人の集まる要  
因をつくれ

②情報化時代 → 企画がタイムリーな  
のもとで → ものは多くの人が集  
まる(特に青少年)  
地道なものは集ま  
らない。

- ・企業が社会教育的講座を有料で開講(専門的内容なもの)しても人が集まることを公民館関係者はどうとらえるか。
- ・最近の公民館は施設・設備を充実し貸館的な利用者の自主管理にまかせてあるが公民館の役割は果たしているか。プログラムの再検討。
- ・公民館のサービス過剰は問題意識を持つ学習者は育たない。
- ・学習者に対する職員の専門性・指導性。

## 第2回発表(補足)

**吉津** ・昭和30年代前半に開かれた3割公民館の名称は聞かれない。現在は地域の多くの人々が公民館にかかわっている。しかし、地域の問題(課題)解決・地域の発展が住民運動の活動(教育)は公民教育(公教育)と思う。地域のニーズのみにそっているだけで良いか。

組織的な教育活動として考える。教育企業ではないはずだ。学ばさねばならない問題もあるはず。

・社会教育関係団体と行政とのとり結び連絡はどうか。

**原** (婦人会の立場)

・会員が減少している中で婦人会の役割、後継者育成のための研修会を希望する。

・公民館活動を活発にすると婦人会員が減少。

公民館のサービス過剰ではないか。

**星野** ・原氏の意見である公民館は集会場だけでなく施設設備の充実したものと専大変参考になった。

・職員問題、資質の問題は十分考えた。

**斉藤** 地域社会の教育力を高める。  
・個人の力(技能・能力)を要求する人に伝える→特技を持っている人の登録。

・各講座クラブ内だけでなく公民館利用者とは仲間づくりのため全体の集いも大切。

**フロアからの質問・意見**

**本間** (新津市運審委員18年間)

・行政から地域住民に協力があればとの意見について。

住民協力と言う前に行政からの協力和指導を望む。

・職員の資質の向上について。

界外の先進地視察等でお聞きすると公民館職員の処遇が良い、社教を通過(経験)しないと出世させないと言う市町村もあるが、職員の処遇改善策は?

**答え 吉津** 社会教育は個人の幸せが集まって地域の幸、皆んなの幸につながる行政とつながらないと不可能。幸せ・問題の解決は行政だけにまかせるものではない。

地域住民の自発的な協力が必要。

個人ニーズを満足させることだけでなく、公教育をする公民館として住民の協力が必要。職員の処遇問題は同感市長さん(理事者)にお願いします。

**答え 星野** 住民の自主性に待つ。職員の仕事は吉津氏と同意見。地域から期待される職員を置きそれなりの処遇を考えたい。

(氏名不明) 吉津氏の意見の通り公教育は住民ニーズにうずもれてはいけない。指導性を持つように。

星野氏の意見の都市化現象での連帯感のそり失等について、公民館が取り組むとのことについて助言者に伺いたい。

**井上課長** 県民のニーズを的確につかみ行政が一人歩きをしてはいけないと言っていることを常々考えている。そうすれば集める社会教育等と言わなくてもよい。しかし、行政としてニーズにおよばれることなく行政としての指針を示さなくてはならない。

**石井会長** 広い視野、遠い視野から見た活動を望む。最終的な目的はよりよい地域・みんなの幸せである。今話題になっている原発問題についても正しい知識と学習する機会をつくることは公民館にもあっているかどうか。政治問題をさけて通っているようである。

**見附市 三本** 婦人会をもっと大切にしてほしい。婦人学級で多くの人が学習しても行政に役立っていない。敬老会等の手伝いは婦人会や青年会である。主事はもっとボランティア活動を教えてもらいたい。

**答え 星野** 婦人会や青年会が地道な地域づくりの活動をしているのに大事にしてもらえないこともあるかもしれない。最近はいろいろな組織ができすぎ婦人会や青年会がなくなったところもあるようだ。公民館は行政とのかけ橋しの役目をして、行政はハード面、公民館は教育、心の問題等ソフト面を両面が相交って住み良い地域社会づくりを望む。ボランティアの問題は今後とも考え大いに取り入れてもらいたい。

**弥彦村 安達** 今の若者が目標をもたないとか 社会的な多くの問題があるが→取組み方についてうかがいたい

**答え 斉藤** 今日社会人は生活していき諸問題に気がつかずにいる(核家族等も一つの原因)

・公民館教育は60年~70年代のつけを直す年代(80年代は)である。

・地域の教育力がなくなった…教育は学校だけ。  
教育は特定の人にまかせてはいけない。役割分担がはきりしすぎ空間ができた。これは地域で他人の子供をしかれない人が多くなっている。80年代は教育の再点検の時期。

(大会総記記録者 小西克征)

## 石井新一メモ

### 韓国文化院訪問(4)

#### 慶州

慶州を見ず韓国を語るなどという言葉あり文化観光都市

千年の新羅の榮華偲ばせて仏都奈良市と姉都市なり

清正軍の焼きしは今の十倍とかされど壮大七堂伽藍

唐文化移し百羅の新文化極致をここに慶州不慮庵

釈迦座像花崗岩なれども柔和なり温みたたえて千二百年

九歳の少女生贄に成りしという東洋最大エミレ(お母さん)の釣鐘

八重桜リラにサツキに芝桜慶州の春いま花ざかり

十人に一人はカメラ提げており行列続く修学旅行生

#### 浦項

奈良文化ここを舟出し越前の小浜港経て伝えられしと

巨大なり八百五十万トンの韓国一の浦項製鉄所

朴大統領全大統領火入れせる写真掲げり広報室に

幼稚園高校病院音楽館施設完備の住宅団地

(作者は本会会長・豊栄市長)

第32回 新潟県公民館大会のパネル討議は「80年代の公民館経営・活動はどうあるべきか」と題し、7人のパネラー助言者と会場の意見もまじえ熱心に討議された。ここに要旨を掲載する。

### パネル討議 要旨

## 80年代の公民館の

司会	B S N新潟放送アナウンサー	対 問	英 洋
パネラー	県社会教育協会主幹 三条市社会教育委員 新潟市中央公民館連絡協議会会長 小千谷市長 新潟大学助教授	吉 津	勝 栄
助言者	県社会教育課長 県公連会長	原	マツヨ
		和 泉	正 義
		星 野	行 男
		齊 藤	勉
		井 上	明 俊
		石 井	耕 一

司会 最近の奥さんたちは学習意欲に燃えている。公民館関係者が熱心に活動することにより放送の視聴率を下げている(と笑わせて場内の緊張をやわらげる)テーマの説明。パネラーの発表は10分。補足発表は5分。その後会場から各パネラーに質問または反論を出してもらおう。パネラーと助言の紹介。

吉津 テーマを高く評価する。80年代をどう私たちがとらえるか。数年前から地方の時代と言われているが、これだけが80年代ではないはずだ。そこで80年代は日本人として選択の時代と考え、不確実・不透明の時代と言われているが、確実性の時代となってきた(国際的にも)経済大国日本を維持できるか。

日本人の意識について考え直す時代であろう。クリーン作戦を例に社会教育はどう対処したらよいか。日本人の多くの人が中流階級意識を持っているが、これは柄だけで中身がないのではないか。学習活動は花盛りではあるが、人の心が育っていないのではなからうか。学習の展開・公民館の事業の中にもバランスのとれたものを取り入れていく必要がある。これを80年代の課題としたい。

原 (住民代表)

生活の水準も高まり高令化社会になった。

公民館活動への要求も高い。

地域の連帯感が薄れている。

公民館の事業計画に住民の参加を。

住民に親しまれる公民館づくりを。

#### 要望

##### ①施設の充実を

- ・1中学校区に1公民館を整備して欲しい
- ・教育的に機能を果たせる公民館として
- ・学習の場(調理室等)
- ・レクリエーションの場・読書の場
- ・住民のたまり場としてのロビーのスペースを
- ・若い母親には学習の場が必要→保育室が必要→乳幼児の集団教育の場
- ・ロッカーの設置・喫茶の設備もあれば最高

##### ②職員について

- ・地域に密着した職員を望む。5・6年は異動せず定着を望む。
- ・休日・夜間の活動のため職員の健康管理のため代休を望む。

##### ③社会参加の方法を具体的に指導。

- ・個人が学習しても学習で得たものを社会へ還元。
- ・学習者同志が手をつながない(連

帯感の不足)。

和泉 (実践者、利用者の代表)

・新潟市中央公民館の利用実態について報告

・公民館の管理、中込みは形式的な方法でなく利用者の立場での一考を望む。しかし公的施設であるとやむをえない点も理解できる。

・利用団体の活動等をいろいろな機会(マスコミ等)で紹介し市民に知らせる事も必要。

・グループの内容・規模によりゆとりある育成と利用方法、創造的な利用方法を考えて欲しい。

星野 (市長の代表)

・平均寿命の伸びにとまらぬ生きがい対策(公民館としての)。(20年後に1,800万人)人生50年~80年の時代として

・余暇の増大に対する公民館活動。交通革命による都市化現象による公民館の課題。

・住民の連帯感の欠如。青少年の非行化。

・住みよみふるさとづくりのためにも学校教育とともに以前は社会教育は公民館が実施していたが、今は他の機関(社会教育的発想の機関)企業も実施している。

・社会教育法20条にもとづく社会教育のセンターとしての役割は変わらない。

・かつて日本の民主主義普及にはたした公民館の役割は大きかった。

・地方の時代を迎え地方の特性を生かした地域づくりのため、住民の総意、参加を得るためにも、地方の時代創造の中心的機関としての公民館の役割は大きい。

行政←→公民館←→住民

斉藤 (学者・研究者の代表)

## 県公民館大会参加の記

### 課題を 見つける

駒形 一郎

八十年代は、地方の時代ともいわれ、公民館の施設、職員、拡充整備の方向は、どうであったらよいか、高度成長から安定期長し入り、それに伴い市民各層からものように急激に時代が変化するに促し、社会教育に対する学習要求も多様化して来ているとか、しかも行政改革が叫ばれているとき、われわれ社会教育に携わる者として、これらを踏まえたならどう対処すべきかという意味で、期待とまき勉強の場を思っ出て出席しました。

現在、それぞれの学校、講座等の事業の中で、見直しを促されたいわれられている。経費の参加者負担(受講料)材料費を含む( )についても取り扱うべきかまで悩んでいる。新潟大学の斎藤先生から、社会性の薄い人々が多くなってきたら、この人々を学習させるには、どうしたらいいのかわかぬ、もっと真剣に考えるべきで、初歩の内容を提供するとか、私たちが立案するプログラム内容を引きつけていくなど、いろいろと検討すべきであるというので、社会教育の学習(社会教育)は、自ら進んでやるべきである。

現在、八、〇〇〇円~五、〇〇〇円

○円も授業料を取っても社会教育意識が成り立つ時代である。これは、いかなれば、社会教育担当者に対する警鐘であった。それらは、不健全なものというべきである。指摘されたら思いますが、このことについて、私たちが、深く考えさせられ、今後、真剣に取り組まなければならぬと強く感銘を受けたことでもあります。

(新潟市教育委員会社会教育課長)

次の大会に  
期 待  
小林 正三

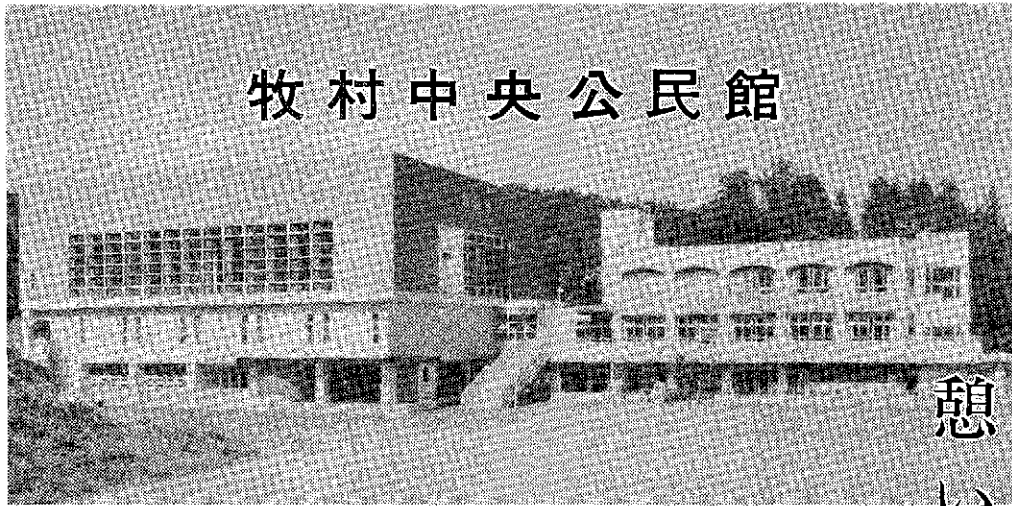
県公民館大会にはいつも約六〇〇人の方が集まれることは自分たちの公民館の現状を見つめて何かを求めたいとの願いがあつたかと思ひます。

公民館は社会教育の場だと思つているのに、ミニミニ施設類で公民館の建設で運営等に迷つているのではないのでしょうか。

私は小原信弥先生の講話を聞いて今年も年首は目玉を見ていたが、最近社会教育を促して観察するようになったので、一層明確に見ることができるようになった。このお話を聞いて、公民館の運営もいろいろと角度から見直さねばならぬと思ひました。

(三条市中央公民館連絡委員会)

# 牧村中央公民館



(近代的な三階建公民館)

## 新生公民館繁盛記

(1)

公民館は花ざかり、一月号からこれまでですでに十八館の新築公民館が登場。これからもどしどしご紹介していきます。

### 憩い 語り 学ばう場

### 一階に村民談話室を開放

過疎現象のすすむ中で、新しいことができるように、住民の「心のルー」を創造した総合拠点施設として、昭和五十年十一月にオープンした。公民館は、村民の誰かがいつでも、気軽に利用できることを基本として設置した。それは、新しい時代を即感したライフサイクル設計に従って利用

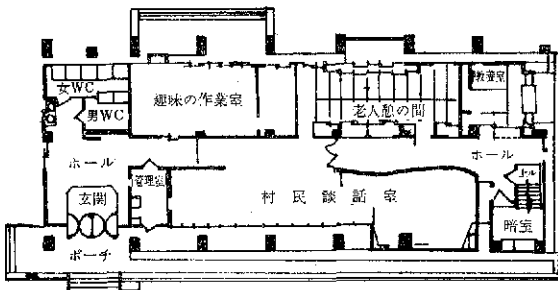
日、新しい時代に即感したライフサイクル設計に従って利用

め、友人との語り合いも、また、煩悩を音楽を休め口への緊張を緩う場でもある。村民の誰かがいつでも自由に利用できる。これは、わが牧村公民館の茶の間の部分である。二階は、おひの向上のために、村づくりのため

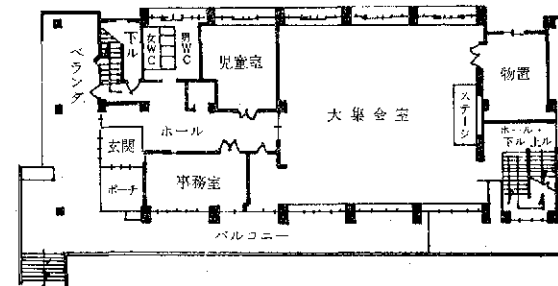
めに、より多くの英知と努力が必要であることから、そのための研修や催し、地域課題にそった活動を推進する場として、村民に提供している。三階は、明日をひらく五、〇〇〇有余の村民が、自らの能力を身につけ、自分自身の生きがいや地域づくり志向への研修の場が中心。ひとりひとりの学習から、グループ研修、青少年から高齢者までそれぞれ学習ができるようになっている。公民館は、村の総合教育推進の場として、村民の要望にこたえるために、研究 夫をしながら、活力のある公民館にしていきたいと考えている。(牧村公民館館長補任西山英一)

### 平面図

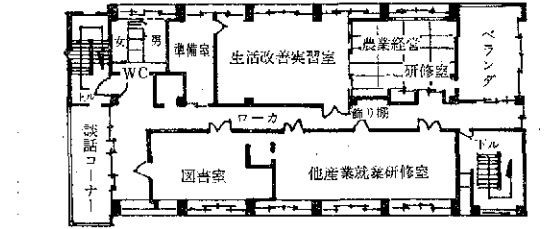
1階



2階



3階



### 公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

#### ◎内容

教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。

A 5判34ページ 1部 300円(送料実費)

#### ◎お申し込み先

〒 951 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 電話 0252 (24) 6073

# 生きています

## 公民館報

「公民館報」は、いまの市町村広報の大きかけであった。かつては、ほとんどの公民館が手がけていた重要な広報活動の手段であったが、行政広報の普及ともなって吸収されていった。

しかし、県内公民館には依然として、はつらつと活動している「公民館報」が二十紙ほどある。そのうちのひとつ「公民館報さんぼく」は岩

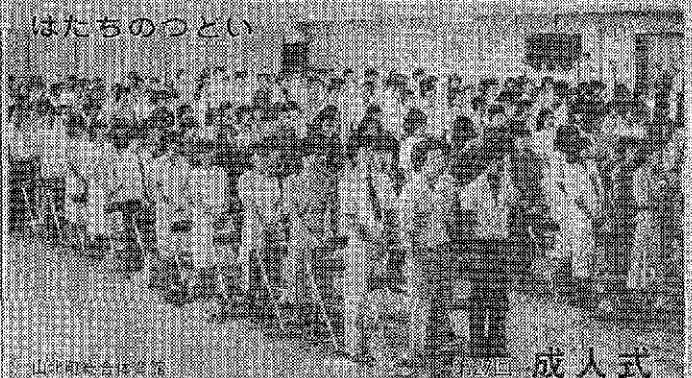
### 館報さんぼく

船郡山北町公民館の発行。タブロイド版六ページだて通巻二四七号をかぞえる定評あるもの。

内容は、スポーツ大会、各種社会教育関係団体のうごき、評論、紀行記、歴史、民俗紹介から短文芸までと豊富であり、とくに紙面に登場する地域の人びとが多く、親しみやすい館報となっている。



公民館報  
さんぼく



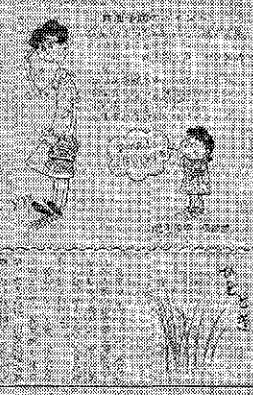
はたちのつとめ

### 成人式

第27回  
山北町成人式  
若さと情熱を  
明日の社会建設へ

### 健康コーナー

お父の貧血



### 新成人の主張大会

社会に出て

## プロフィール

十日町市公民館事業係長

三谷 尚氏 (41才)

みたに・ひさし。  
市の機構改革にも  
ない、新設された事  
業係の初代係長。  
三五年水災の被害  
に就任。町村合併に  
より、三七年市教育  
委員会事務局長職務  
勤務となる。

通信教育で、中央大学を卒業した頑張り屋である。二十四才で学校教育課学事係長に昇任。五二年運営管理委員会事務局長。五三年市民課事務係長、運営事務係長を併任。

五四年春の統一地金課を一手に任切る。五五年から現職。

係長として率先、初経験の社会教育のしごとをこなしている。さすが、行政の猛者である。へき地集落へ、本

の出前をする。回覧文庫は彼のアイデアによる。また、機械に強く研究熱心で、且、視覚覚醒器等設備の整備に懸命。終日席の暖まる暖かない稼き手でもある。

持ち前の利かん気、筋を通す一徹者。その半面、面倒見が良く、同僚、部下の信託が厚い。給えず職場に新風をおくっている。

好漢。いよいよ自雲のれんことを。前途を期待されているひとである。

釣り、野球、卓球と多趣味の持ち主であり、量は多量な酒を好む。地域では、PTA役員・町内会役員として、青少年問題やマッチづくりと積極的に取り組んでいる。福祉事務所勤務の、和子夫人とのロマンスは今も語り草。家庭では、一男・一女(小六・中三)の、きびしくてぞしてやさしい、良いパパである。三重県津市出身、四十一才。



十日町市公民館長  
田村孝生

# あの頃のこと

## (2) 模索の公民館活動

杉野 誠 治

昭和四二年六月一日、社会教からその使用には配慮をしなければ育法が施行され、ついで二五年、二六年に一部改正が行われたが、この法律施行により公民館活動が問題になった。すなわち、公民館は地域的基礎に立つ教育施設であって、その地域社会の生活に即した教育、芸術文化に関する各種事業を行うことが、その主要なる活動内容である。

在来の公会堂や集会所等の単なる施設と異なり、それ自体が主体性をもって各種の活動事業を行うことを主要な任務とする機能体である、ということである。まず施設が、その施設で、その施設(分館を含む)のなかで行われるものが「公民館活動」であって、施設以外の活動は、教育委員会の所管するものである、という意見であった。

公民館は毎日発行され、公民館図書も小中学生にも開放し、これらの利用者を通じて父兄にも利用を呼びかけたところ、書棚が空欄がめだつようになって来た。内山館長が、世界史に造詣が深かったことから、定期講座として毎週一回の「世界を知ろう」という世界史講座を開設したところ、毎回二〇人前後の住民が参加して来た。また小学校の屋外運動場でも人が参加した。しかし何か物足らない、何かがこたえな感じが公民館職員の間にあった。それは中央館職員の間にあった。それは中央に人を集めようとしても事業には限界がある。住民に何か求め住民が何を求めているかを知る必要が

あるのではないか、それには唯中尖に出来ないといつても自分の求めるものであれば、夜少々遅くても来るが、自分の好みのものでなければ、主催者がどんな良い事と思つて計画しても参加しないであらう。われわれは待つより行くのだ。住民が何を考え、私達は何を望んでいるのかを知るために、町内の

守聴や集会所を利用して対話集会を開こう、という意見だった。町内で集会するとすると、夕食の時間となり、また、話し合いだけでは話が無いので、幻灯機とか映写機等を利用しなければならぬ。映写機は県教育委員会中頸城郡出張所にあるナトコ映写機だけでは、利用日数に制限があるため、ナトコの巡回日程に合わせて対話集会の日程を立てなければならなかった。

この頃、ミナチ、北辰、エルモ等の国産一六種映写機が普及しはじめ、中頸城郡公民館連絡協議会(会長、正田正誠)では、会長が陣頭になって、一町村一台の映写機をこの運動が展開された。さらに、UISフィルムに満

足りない人達のために、国産フィルムを購入しようという、中頸城郡職員会のほとんどもが若かったためそのエネルギーを止めおくことが出来なかったためではなかったのではなかろうか。また関係者も公民館の活動によって、住民が行政に対する理解を深め、地方自治行政が日一日と進んでいくことを確信して行くと決意する。したがって、新井市公民館は町村合併という大きな風を受けながら、新

ひとひらの偶然をはこぶものは風か  
舞いあがる氷雪か  
おのれの可能性にむかって男はハーケンを打込む  
岩壁に打込む  
一步 一步  
男の懸崖のアイゼンが岩壁を噛む  
氷壁をのぼる

### 登 攀 浅 間 勝 衛

足しない人達のために、国産フィルムを購入しようという、中頸城郡職員会のほとんどもが若かったためそのエネルギーを止めおくことが出来なかったためではなかったのではなかろうか。また関係者も公民館の活動によって、住民が行政に対する理解を深め、地方自治行政が日一日と進んでいくことを確信して行くと決意する。したがって、新井市公民館は町村合併という大きな風を受けながら、新

自己をよじのぼる  
男は転落事故の教かすを知っている  
彼の視界にひろがる巍峨たる起伏がこの世の極北であるとともに  
幽界の門扉であることも  
(そこには高山植物や雷鳥との美しい出逢いもあったが)

ザイルを確かめる  
おのれを確かめる  
一步 一步  
水塊をのぼりつめる  
おのれをのぼりつめる  
標高三千米近くまでのぼりつめる  
ついに  
男は懸頂に立った  
天垂と地殻をむすぶ一粒の核のよう

また、新生活運動の公明選挙運動を担った。この頃の公民館職員は、何でも新しい問題に欲に吸収しようという傾向があったように思われる。公民館活動の適正なる発展と内容の充実に努めながら、公民館大会や職員研

修繕等が関係されたものの、公民館職員へのほとんどが若かったためそのエネルギーを止めおくことが出来なかったためではなかったのではなかろうか。また関係者も公民館の活動によって、住民が行政に対する理解を深め、地方自治行政が日一日と進んでいくことを確信して行くと決意する。したがって、新井市公民館は町村合併という大きな風を受けながら、新

雪を急降する思想はそこからきていられるだろうか。そのひとつとしてあと思ふ当ものがあります。「北越雪譜」の世界を現代にオーバードラッグさせ、一種の非常識を打ち込みようとする衝動があることである。雪国に生れ、そこに生きつづめるのは、そのような思想をのりこめていかねばならぬものと思ふ。

雪を急降する思想はそこからきていられるだろうか。そのひとつとしてあと思ふ当ものがあります。「北越雪譜」の世界を現代にオーバードラッグさせ、一種の非常識を打ち込みようとする衝動があることである。雪国に生れ、そこに生きつづめるのは、そのような思想をのりこめていかねばならぬものと思ふ。

雪を急降する思想はそこからきていられるだろうか。そのひとつとしてあと思ふ当ものがあります。「北越雪譜」の世界を現代にオーバードラッグさせ、一種の非常識を打ち込みようとする衝動があることである。雪国に生れ、そこに生きつづめるのは、そのような思想をのりこめていかねばならぬものと思ふ。

雪を急降する思想はそこからきていられるだろうか。そのひとつとしてあと思ふ当ものがあります。「北越雪譜」の世界を現代にオーバードラッグさせ、一種の非常識を打ち込みようとする衝動があることである。雪国に生れ、そこに生きつづめるのは、そのような思想をのりこめていかねばならぬものと思ふ。

### 色紙(表紙絵)募集

公民館の絵画教室での傑作、利用グループの中で絵をよくする人の作品など、なるべく多位置で書かれたもの。  
絵の内容は「名勝、旧跡、文化財」などのほか、表紙にあきわしいものであればなんでも結構です。説明文は四角位置でお願いします。

### あとがき

雪国地帯は別として、たいして雪も積もらず、年に二、三度の雪かきをする程度の平地に生みながら、なほかつ雪の冬を喜ぶ人を見かけます。  
雪を急降する思想はそこからきていられるだろうか。そのひとつとしてあと思ふ当ものがあります。「北越雪譜」の世界を現代にオーバードラッグさせ、一種の非常識を打ち込みようとする衝動があることである。雪国に生れ、そこに生きつづめるのは、そのような思想をのりこめていかねばならぬものと思ふ。

(4)

埼玉原越谷市弥十郎4-110  
電話 0489 71161